

「MIRAI SCHOOL いたばし -学校施設づくり2035-」(素案)  
 に対するパブリックコメントと板橋区教育委員会の考え方

◎ 募集期間：令和7年11月7日(金)～11月28日(金)【22日間】

◎ 件数：10件/2人(Web提出2人)

No.	項目	意見の概要	板橋区教育委員会の考え方
1	第2章 2 成果	書架の配置の仕方や、読書スペースの充実、場所の工夫などにより、学校図書館の充実を図ってほしい。	本計画では、前期計画における成果(P.19)として「オープンな空間×図書館」として開かれたメディアセンターを紹介しています。 新しい取組の効果を踏まえつつ、柔軟な発想をもちながら、引き続き、より良い教育環境の整備に向けて取り組んでいきます。
2	第2章 4 後期計画に向けた課題と方向性	オープンスペースや教科センターの整備を、ハードとソフトを一体で進める方針に賛同します。運営方式の最適化、教科横断や探究的学びの促進、地域住民との意見交換・好事例の共有までを含めた運用設計の重視は妥当です。	本計画では、教育環境の充実(P.23)に向けて、ハード面とソフト面の整備を一体的に進めることが重要であるとしています。 区がめざしている新しい時代の学びを実現するため、オープンスペースや教科センターの導入を引き続き推進していくとともに、取組内容の継続的な向上を図っていきます。
3	第2章 4 後期計画に向けた課題と方向性	猛暑により、水泳授業の実施が難しくなっているため、維持費を考慮して、全校にプールを整備する必要があるのか検討してほしい。	本計画では、後期計画に向けた方向性(P.23)として、学校施設の多用途化や複合化、集約化の視点について記載しています。 学校プールのあり方については、教育委員会内で検討を行い、報告書としてまとめているところです。
4	第3章 2 新しい時代を見据えた未来志向の学校づくり	学びの多様化に合わせて、場所を仕切ったりつなげたりできる教室や、少人数で学びができる小部屋など工夫をしてほしい。	本計画で示している未来の学校づくりで重視する視点のうち、学校教育における未来像(P.29)に沿う考え方です。その一例として、前期計画における成果でもあるオープンスペースの導入が挙げられます。 引き続き、より良い教育環境の整備に向け取り組んでいきます。

No.	項目	意見の概要	板橋区教育委員会の考え方
5	第3章 2 新しい時代を見据えた未来志向の学校づくり	改築にあたり、各学校に、不登校の子や教室で授業を受けにくい子の居場所になるような、学習スペースを整備してほしい。	<p>本計画で示している未来の学校づくりで重視する視点のうち、学校教育における未来像(P.29)に沿う考え方であり、現状においても全校で設置をしています。現在改築工事中の上板橋第一中、志村小・志村第四中、板橋第六小においては、設計の段階から子どもたちの使いやすい配置などに配慮し、専用室として整備を進めているところです。</p> <p>引き続き、MIRAI SCHOOL いたばし -教育ビジョン2035-の考えを踏まえ、多様な学びの場の確保に向け取り組んでいきます。</p>
6	第3章 2 新しい時代を見据えた未来志向の学校づくり	全校に教育相談室を整備してほしい。	<p>本計画で示している未来の学校づくりで重視する視点のうち、学校教育における未来像(P.29)に沿う考え方です。現状においては、多くの学校で運営の工夫により場所の確保に努めていますが、近年の改築校については、教育相談をはじめとし、プライバシーの確保を前提とした、個室の設置を基本に整備を行っています。</p> <p>引き続き、より良い教育環境の整備に向け取り組んでいきます。</p>
7	第3章 2 新しい時代を見据えた未来志向の学校づくり	学校と地域の連携を促す交流スペースの設置や、長期使用を前提にした柔軟な更新・活用は、地域クラブ常設(少林寺拳法・茶の湯)と親和的です。夜間・休日の運用ルール(利用者動線、警備、賠償・傷害保険、個人情報・更衣スペース等)を区標準で整備し、学校＝学びの拠点／地域＝実装のパートナーという役割分担を明文化してください。	<p>本計画は、学校施設の老朽化対策と適正規模・適正配置を連動させた整備計画であり、基本的な考え方や整備方針を示すものとして策定するものです。</p> <p>このため、地域交流における運用等に関する考え方は示していませんが、地域連携における学校施設の未来像(P.31)を記載しています。</p> <p>施設整備にあたっては、ハード面だけでなく、長期的な使用を見据えたソフト面との一体的な充実が重要であると考えています。</p>

No.	項目	意見の概要	板橋区教育委員会の考え方
8	第3章 2 新しい時代を見据えた未来志向の学校づくり	施設 KPI の例として、 1. 放課後・休日の地域利用時間（年間） 2. 学校×地域の共同プログラム数 3. 武道・和文化室の稼働率 4. 安全インシデント“ゼロ”継続率 等の運用指標を掲げることを要望します。	本計画は、学校施設の老朽化対策と適正規模・適正配置を連動させた整備計画であり、基本的な考え方や整備方針を示すものとして策定するものです。 このため、公共施設の KPI に関する考え方は示していませんが、地域連携における学校施設の未来像（P.31）を記載しています。 学校施設の使用に関連する KPI については、すでに行政評価の事務事業評価において個別に設定し、毎年の見直しを図っているところです。 引き続き、より良い学校施設の運用や学校運営が図れるよう取り組んでいきます。
9	第3章 2 新しい時代を見据えた未来志向の学校づくり	現在の学校は冷房の効きが悪く、教室を引っ越して授業を受けているので、ぜひ冷暖房の効きが良い校舎設計をしてほしい。	本計画で示している未来の学校づくりで重視する視点のうち、環境配慮における学校施設の未来像（P.32）に沿う考え方であり、改築校だけでなく長寿命化改修時などにおいても、断熱化への取組を進めているところです。 引き続き、より良い教育環境の整備に向け取り組んでいきます。

No.	項目	意見の概要	板橋区教育委員会の考え方
10	第3章 2 新しい時代を見据えた未来志向の学校づくり	<p>学校プールの集約化・外部活用の検討が進む中で、集約化により生まれる空間の教育的再配分を明確化してください。</p> <p>提案は次の2点です。</p> <p>1. 多目的武道スペース（可搬畳・格納ミラー・換気/音配慮）を標準装備し、体育授業（武道領域）・姿勢/呼吸の調整・安全教育・放課後クラブ（少林寺拳法）で共用</p> <p>2. 和文化室（水屋ユニット＋可動畳）を整備し、茶の湯・書・華の授業や総合学習、放課後の“静の居場所”、地域講座に活用</p> <p>これにより、施設の多用途化・複合化・集約化の方針を教育効果へ直結させられます。</p>	<p>本計画は、学校施設の老朽化対策と適正規模・適正配置を連動させた整備計画であり、基本的な考え方や整備方針を示すものとして策定するものです。</p> <p>学校プールに限らず、学校施設の多用途化や複合化は教育的効果への影響を踏まえた検討が重要であると認識しています。検討にあたっては、各学校や地域の状況等に応じて、基本構想等の段階で個別に検討していくものであると考えています。</p> <p>なお、学校プールの集約化、外部活用については、本計画とは別に、教育委員会内で検討を行い、報告書としてまとめているところです。</p>